

## 広域型生活支援コーディネーターの活動について

【これまでの活動報告】 平成 29 年 8 月～平成 29 年 10 月

### ①これからを考える交流会

〔社協が地区福祉委員会に呼びかけて、地区福祉委員会をはじめとした地域の諸団体、福祉施設、地域包括支援センター、GSW などが参加し実施。生活支援コーディネーターが説明・報告〕

- ・ 7 月 31 日佐井寺地区（参加者 31 名）
- ・ 8 月 26 日山手地区（2 回目）（参加者 55 名）

### ○出された主な意見

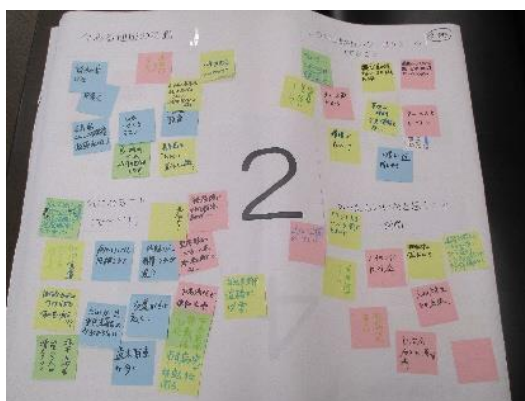
【佐井寺地区】

- ・ 地域の各種団体の横の連携が必要。今日のような集会を今後も行ってほしい。
- ・ 高齢者の要望をつかめれば、その要望の実現のための具体化の話し合いをしていきたい。
- ・ 4 地区の住環境にかなり差があり、全体では難しい。
- ・ マンション、自治会の問題の解決に向けての取り組みは必要と思いました。



【山手地区】山手コア会議主要メンバーとの振り返り会で出た意見

- ・ これから高齢者の買い物に困るニーズが増えてくることが予想される。
- ・ 高齢者も含めて、干渉されることを拒んだり、地域の活動に対して、無関心である人も多くいる。無関心層への働きかけは、壁が厚いと感じる。
- ・ アンケートを回収できた 29 名のうち、24 名が継続的に参加していきたいと意思を示している。これからも自治会からの参加や地域の諸団体にも参加を呼びかけて、意見交流会を重ねていくことをしていきたい。



## ②10月30日「集いの場」交流会

高齢者の「集いの場」を運営する多様な担い手に参加を呼びかけ、「集いの場」の活動の充実や活動団体同士のネットワーク作りを目的に開催しました。

参加者：109名

（内訳：集いの場運営者等 83名、地域包括支援センター14名、認知症地域推進員1名、CSW11名）

内容：【第1部】報告「集いの場」ってどんなもの、「これからの集いの場」について  
3団体の活動発表（片山地区、山二地区、東山田地区）

【第2部】13のグループに分かれて意見交換会

### ☆グループワークで出された主な意見☆

#### (1) 工夫している点

- ・参加者に希望を聞きながら、内容を考えている。
- ・社会福祉施設の部屋を借りて実施している。
- ・自治会にアナウンスをしている。
- ・高齢者の参加を広めるには、口コミが大事。高齢クラブに加入してもらうことを勧める。
- ・どなたが来てもOKにしている。
- ・サロン開催に合わせて、八百屋さんに協力してもらい、青空市をしている。日用品（ティッシュ、トイレットペーパー、カイロなど）を前もって購入し、販売をしている。

#### (2) 課題や問題点

- ・宣伝、広告をどのようにすればよいか。市報以外に知らせるものはないか。
- ・会場が坂の上で高齢者にとって来場することは大変。送迎があればよいが。
- ・人材・担い手の不足、若い世代の協力が得られないか。
- ・参加者の固定化。新たな参加者がなかなか増えない。どうしたら新しい参加者を増やすことができるか。
- ・内容がマンネリ化している。企画に変化をつけることが必要と感じる。
- ・場所の確保が難しい。
- ・女性の参加者が多く、男性の参加者が少ない。
- ・参加者を増やしていきたいが、担い手や会場の広さなどが課題となる。

